

## 分散型太陽光発電開発事業者 SolAmerica Energy 社への出資について ～米国における初の再生可能エネルギー事業参画～

2020年3月12日  
大阪ガス株式会社  
Osaka Gas USA Corporation

大阪ガス株式会社(社長:本荘武宏)の100%子会社である Osaka Gas USA Corporation(社長:生田哲士、以下「OGUSA」)は、米国の分散型太陽光発電開発事業者である SolAmerica Energy, LLC(CEO: R. Stanley Allen、以下「SAE 社」)に出資することを3月12日に決定しました。本件は、Daigas グループとして米国で初めて再生可能エネルギー事業に参画するものです。

近年、米国では環境性と経済性から天然ガス火力発電所の導入が進展するとともに、再生可能エネルギーの導入が加速しています。今後、太陽光発電がそれを牽引し、大規模な太陽光発電所とともに、遊休地や公共・商業施設の屋上などを利用した分散型太陽光発電(※)の導入が拡大していくと予想されています。

SAE 社は米国東部を中心に10万kWを超える開発・建設実績を持つ分散型太陽光発電の開発事業者です。現在、事業エリアの拡大、太陽光発電と蓄電池の組み合わせなどの事業の多様化などにより成長を加速しています。

OGUSA は米国エネルギー事業において、フリーポート LNG 液化石業、シェールガス開発事業、発電事業を3本の柱として位置づけ、収益拡大を進めています。発電事業においては、天然ガス火力発電事業に加え、新たに再生可能エネルギー事業に参画することで、収益基盤の一層の強化を図ります。

本出資を通じて、米国における分散型太陽光発電の開発・建設事業を拡大するとともに、分散型太陽光とセットで普及が進む蓄電池事業や、より広範な消費者に太陽光エネルギーの利用を可能とするコミュニティソーラー事業などにも参画します。

Daigas グループは、100万kW規模の再生可能エネルギー電源を開発・取得・運営するという目標の早期達成を目指し、国内外で活動を展開してきました。今後は電源の保有に加えて、分散型太陽光発電の開発・建設事業に取り組み、再生可能エネルギーの普及拡大を進めることで、低炭素社会の実現に貢献してまいります。

※大規模集中型の太陽光発電設備とは異なり、需要家エリアに近接して分散設置される比較的小規模な太陽光発電設備

### <SAE 社概要>

会社名	SolAmerica Energy, LLC
所在地	ジョージア州アトランタ
代表者	R. Stanley Allen
創立	2009年
主な事業内容	分散型太陽光発電事業の開発・建設

SAE 社 Web サイト <http://www.solamericaenergy.com/>



SAE 社が過去に開発・建設した太陽光発電所

以上

Daigas グループが持つ技術力やグローバルに展開する事業活動を、  
Web サイトページ「ENTERPRISE FUTURE」で紹介しています。  
(PC版) [http://www.osakagas.co.jp/company/enterprise\\_future/](http://www.osakagas.co.jp/company/enterprise_future/)  
(スマホ版) [http://www.osakagas.co.jp/sp/company/enterprise\\_future/](http://www.osakagas.co.jp/sp/company/enterprise_future/)